

## 玄宮園迎賓船運航のご案内

### 運航日程および乗船予約

- 運航日程は、季節によって変わります。
- 乗船は、予約制です。
- 運航日程の確認および乗船の予約は、右の二次元コードから彦根観光協会ホームページにアクセスしてください。



### 乗船時間

- 約10分

### 乗船料

- 大人 1,000円
- 小人(小・中学生) 500円(小学生未満無料)

※乗船料には、ポストカード・特製ひこね迎賓船キーホルダーが付いています。

※玄宮園の入場には、別途観覧料が必要となります。

### 乗客定員

- 4人(大人)
  - 小学生は6人
- ◎玄宮園魚躍沼の湯水や雨天、風が強い場合などは、運航を変更、中止する場合があります。また、臨時に運航することもありますので、事前に彦根観光協会にお尋ねください。
- ◎イベント等での運航を希望される場合は、事前に彦根観光協会にお申し出ください。(有料)

## 玄宮園への交通アクセス

- 電車 JR彦根駅から徒歩15分
- お車 名神高速道路彦根ICから10分

## お問い合わせ

〒522-0064 滋賀県彦根市本町一丁目12番5号  
四番町スクエア ひこね街なかプラザ内

公益社団法人 彦根観光協会

TEL 0749-23-0001 FAX 0749-26-1919

E-mail info@hikoneshi.com

URL <https://www.hikoneshi.com>



彦根城 玄宮園

# 迎賓船



公益社団法人 彦根観光協会

## 玄宮園と屋形船

玄宮園が築造されたのは、4代藩主井伊直興公のとき、延宝5年(1677年)で、以降、江戸時代をとおして藩主の慰楽の場、交際の場、饗応の場として使用され続けました。

この「玄宮園」の名の由来については、「莊子」に、古代中国の皇帝「顓頊(せんぎょく)」が退位して、都の北の玄宮に住むという記事があり、藩庁である「表御殿」の北側にある御殿(宮殿)で、しかも退位した者が住む隠居所であるという共通性から命名されたのではないかと考えられます。

玄宮園には、元島・新島など4つの中島を擁する池泉を中心として、その外周にあたる庭園の東部から北部にかけて築山を築き、それらの間を縫って変化に富んだ庭園の景観を楽しめるよう回遊路が巡らされています。

玄宮園での舟遊びは、10代藩主の直幸公の時代には、既に行われていたようです。

(文章は、彦根市発行の「名勝玄宮楽々園ー御庭と機御殿ー」から引用しています。)



彦根城博物館所蔵 画像提供: 彦根城博物館/DNPartcom

### 玄宮園図(彦根城博物館蔵)

江戸時代後期の玄宮園の様子を城山からの目線で描いた鳥観図



彦根城博物館所蔵 画像提供: 彦根城博物館/DNPartcom

### 玄宮園図(彦根城博物館蔵)

図面に描かれた屋形船

## 屋形船を玄宮園迎賓船として復活

彦根観光協会では、彦根城の世界遺産登録に向けた機運の醸成と彦根観光の魅力度を高めるため、かつて彦根藩主が客の接待等の目的で玄宮園の魚躍沼に浮かべていた屋形船を迎賓船として復活させることといたしました。

玄宮園迎賓船の製作に当たりましては、滋賀県未来投資総合補助金を活用するとともに、多くの皆様方からご賛同をいただき、多額のご寄付を賜りました。

この玄宮園迎賓船が彦根市の文化財の保存と活用、彦根城世界遺産登録の推進、そして国内外に新たな彦根の魅力を発信し、持続可能な観光都市・彦根の一助となることを願っています。



## 迎賓船の規格

全長	5.99m
全幅	1.24m
全深	0.63m
重量	約500kg
材質	FRP製の田舟を桧と杉で和船に仕上げ

